

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年10月20日

計画の名称	笠岡市宅地耐震化推進事業													
計画の期間	令和03年度～令和04年度（2年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	笠岡市													
計画の目標	大規模盛土造成地（第一次スクリーニング）で抽出された箇所を対象に、第二次スクリーニング（現地踏査、優先度判定）の計画を策定する。 今後の滑動崩落防止対策につなげることで安心して暮らせる地域づくりを推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		7	A	7	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R3当初）		（R4末）
1	第一次スクリーニングで抽出された箇所を、第二次スクリーニング（現地踏査、優先度評価）を計画する。			
	第二次スクリーニング（現地踏査、優先度評価）計画を実施した箇所数	0箇所	0箇所	23箇所
	第一次スクリーニングで抽出された大規模盛土造成のうち現地踏査、優先度評価を実施した箇所			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	笠岡市	直接	笠岡市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング計画（ 現地踏査、優先度評価）	笠岡市	■	■				7		-
											小計						7		
											合計						7		

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

笠岡市建設部都市計画課により事後評価を実施。

事後評価の実施時期

令和5年9月

公表の方法

笠岡市ホームページ掲載により公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

第一次スクリーニングにより明らかになった大規模盛土造成地について、基礎資料をもとに現地踏査，簡易地盤調査，優先度評価を実施し，第二次スクリーニング計画を策定し，安心して暮らせる地域づくりに寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

優先度の高い盛土が確認されなかったことから，当面第二次スクリーニングは実施しないが，変状が確認された場合には第二次スクリーニングの実施を検討する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	第一次スクリーニングで抽出された箇所を，第二次スクリーニング（現地踏査，優先度評価）を計画する。目標値23		
	最 終 目標値	23箇所	
	最 終 実績値	23箇所	